

みんなの夢の創造と実現のために……

# 星のゆめ

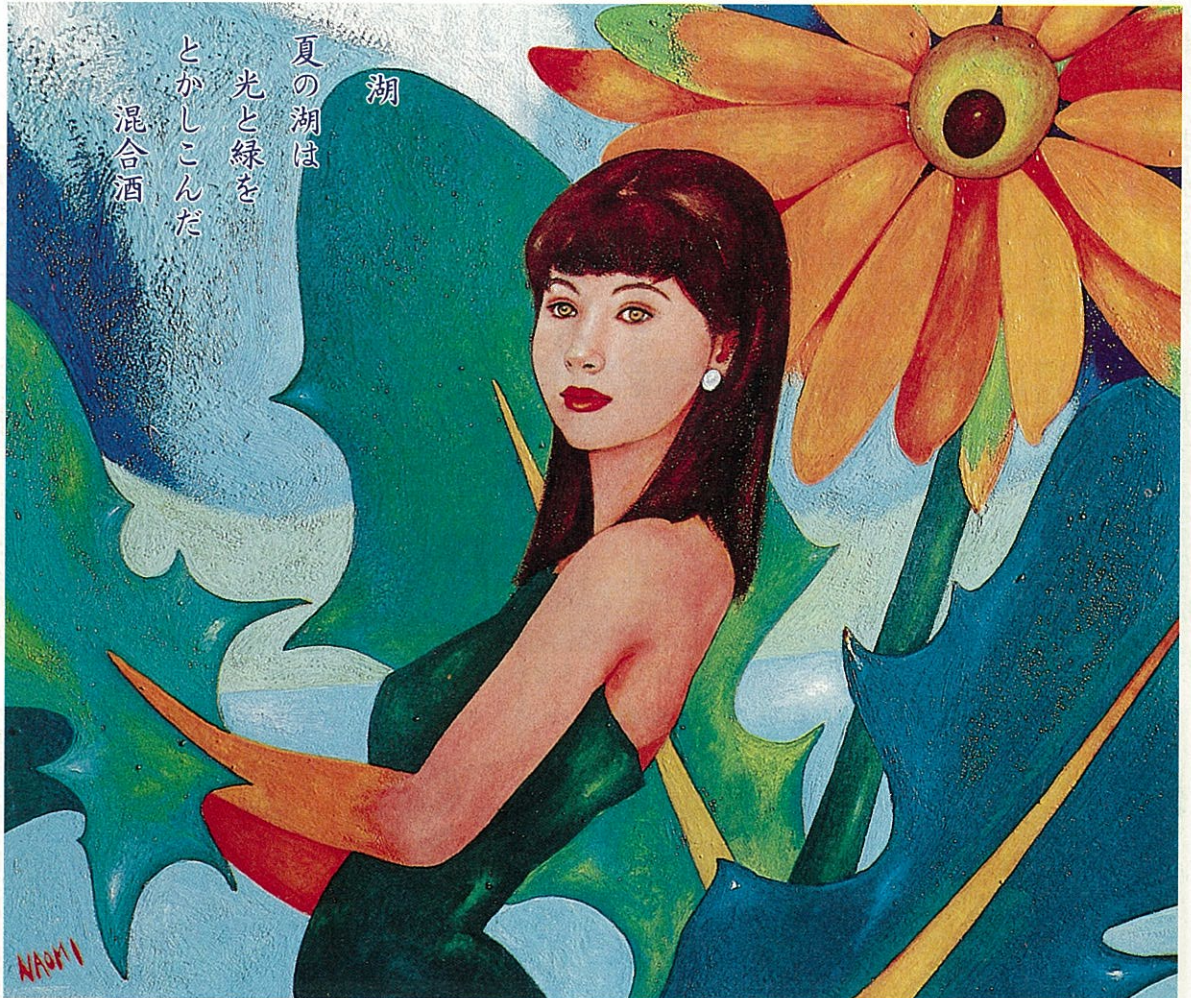
下松市観光協会  
会報

VOL. 3

編集・発行／下松市観光協会

発行者／近間 幸雄

Phone 0833-41-1800



詩・イラスト／藤田直美

関西私鉄の雄、阪急電鉄の社長、小林公平さんのお話しを聞いた。小林公平さんは阪急電鉄創業者小林一三さんのお孫さんである。その公平さん、近々、阪急電鉄グループの会長になれるそうであるが、これからの私鉄のビジョンを語っておられた。

毛利のサンフレッチェ(三本の矢)にあやかっただのにはあるまいが、阪急グループを三本制になさるそうである。本業の鉄道本部、沿線都市開発の都市本部、そして、その沿線都市が新時代のニーズに的確に機能するための創造本部の三本制である。遊びを創る本部とは、如何にも頭の柔らかい大阪商人阪急グループらしい発想である。

遊びを創ると云えば、当観光協会の花岡・米川観光推進委員会(委員長中村隆征)が進めている「米泉湖に句碑を作ろう」もその冴えたるものである。なにせ、唯の石を生きた銘石にしてしまった。その発想と行動力に心から敬意の拍手を送りたい。(一)



# ザ・モール周南のオープンにあたって

## 株式会社 西友 広報室

西友は、ショッピングセンターづくりにあたって、単なる商業施設としてではなく、地域のランドマークとして、またコミュニティの拠点として十分な魅力を持つ、多機能な施設をつくることで地域の活性化、振興に貢献する施設となることを目指しています。

'88年に下松市、商工会議所、下松商業開発の方々からご誘

致を受け、'89年に下松タウンセンターのパートナーとして参加させていただくことが決定して以来、下松市のコミュニティの核として、高い集客力をもつ施設をつくりあげるために、この施設づくりのノウハウを随所に織り込みました。

下松市は道路の整備状況も全国でトップレベルであり、交通のアクセスも良いことか

ら広域な範囲からの集客が可能な都市であり、ここに魅力あるショッピングセンターが誕生することは地域に住まわれる方々だけでなくとも大いに期待をされることだと思います。さらに、笠戸島という自然に恵まれた観光地を擁し、山陽本線、新幹線と鉄道のアクセスも良い下松市は、「星降る町」の伝説とも相まってロマンを秘めた町といえます。

西友では「THE MALL 周南」のオープンをきっかけとして、西の京である山口県

の周南、下松市の魅力を全国に渡る西友の拠点を通じて紹介していくとともに、日本全国の人びとが訪れるきっかけとなるような、様々な企画を提案してまいります。

今後、皆様方と共に、「星の夢」の実現に向けて頑張る所存でございます。



# 「まちを変える主役は市民」

下松市まちづくり委員会前会長 西田 真吾

「私たちの住んでいるまちを何とかしよう」という「思い」と実現のためには「言うばかり」でなく私たち自身で実践しようとまちづくりの委員会(二期生三〇名は、去る三月十三日に二年間の活動成果を行政や団体、企業そして市民の皆さんに報告させていただきました)。

内容は私たちの生活に直結した「ゴミ処理問題」「トイレのクリーン化」「手づくり

ガイド標識やビデオ」等々です。合わせて私たち先輩一期生の提言が行政や団体、企業の皆さんの努力で少しずつ実現し、それによって「まちが変化」しています。しかし一方で「変化しなくてもよいのでは」「今のままで十分」という意見があるのも事実です。

では次世代を担う子供や若者に対し現実が「夢と魅力のあるまち」かといえませんが、そういう実態ではありません。幸いにも下松では大型ブ

ロジェクトが展開され、まさにあらたな変化が起きようとしています。

私たちが活動するなかで感じたことですが、現在まちづくりを目指して団体、企業や地域においてそれぞれに企画し、それぞれにイベント等が開催されています。が内容的に似かよったものが多く、結果は散発的でいまひとつ、市民はもちろんのこと他市・他県の人をも引きつける魅力に欠けています。

一方「星ふるまち下松」に

ついても街灯や舗装に星のデザインが取り入れられ、まちのトータルサインづくりが進められています。がさらに市広報で紹介されている他県の「星ふるまち」と交流会や共催イベントを開催するとか、星にちなんだグッズ施設をつくるとかもっと「こだわりの」をもったネットワークづくりもあると思います。

子供たちにとって「夢のある下松」そして誰もが「住んで良かつたといえる下松」実現の主役は行政や団体や企業ではなく私たち市民であるという認識がいまこそ大切なのではないのでしょうか。



☆わしや、笠戸のひらめいの。この間の、新幹線で大阪に行くことになっての、土産に、笠戸ひらめい一夜干し買おう思うて、徳山駅の売店に寄ったいの。三箱頂戴しちゃうたらの、一箱しかないて。なんで? 聞いてたら、あんまり売れんけーといの。在庫持ちがうかいの。ちいとさびしゅうなつたいの。折角の笠戸名物じゃけー、皆んなもっさりこうていな。

ところでの、文化健康センターもだいぶ出来たの。大きなクレインかいの、蟹の手足みないなもんがニヨキニヨキしとつたが、ガラス張りの白い建物がよく見えてきたの。立派なもんじゃ。じゃがの、この建物の中身がちーとも見えてこん。11月のオープンちゅうて聞いちゃうるが、どんな中身でどんな行事をするんかいの。ちーとはみんなに知らせるのが行政とちがうんかいの。ひらめにでももの、聞く耳(側線)はあるんじゃけーたのみますいの。

# 桜桜フェスタ

## 3月27日～4月11日開催

### 桜桜フェスタを ふり返って

#### 山県広行

「夏草や つわものどもが  
夢の跡」すぎてみれば何事も

「山県さん、下松に桜ってすばらしいものが有って夜の桜に照明をあてて市民の人達に、こんないいものがあるって、この祭を通じて知ってもらおうよ」というよびかけで、我が実行委員会の種がまかれました。「祭り」を通して市民の皆さん一人一人が、少しでも手を出し参加して初めてこのフェスタが実行できたのではないかと思っています。事を起こせば、桃栗三年ということわざが有るように、目鼻がつくのはまだまだと考えています。段取り八分とよく話に聞きますが、本当に何事にも「事を続けていく」、そしてその事を発展させていくという事、その道筋、レールをしいて行く事、本当に勇氣と決断と英知があると反省させられました。今年終わって、やっと一年生、明治維新の時代の様な、怒涛の波音を聞きながら、物事の本流を見失しなわなないよう、故郷周南を見きわめながら、さらに一歩又、来年も桜桜フェスタ みなさんの財産になるよう実績をつみ重ねて行きたいと思えます。

すぎ去った事。昨年10月より下松青年会議所より「下松さくらまつり」の長年の実績と汗と幾多の人達の思いを消したくないと実行舞台として観光協会の旗の基、約半年に渡る活動を続け、点灯式への協力、桜桜フェスタ実行と身心を傾け終わって、今現在ほっと一息。



今年は、206社の皆さんにご協力戴きました



▲祭の行進曲にのって ～花岡歌舞伎～



▲開会式のごあいさつ ～近間会長～



▲子ども広場で!! ～よーい ドン～



# 星野哲郎さんの歌碑をシンボルに

## 「米泉湖文学碑プロムナード

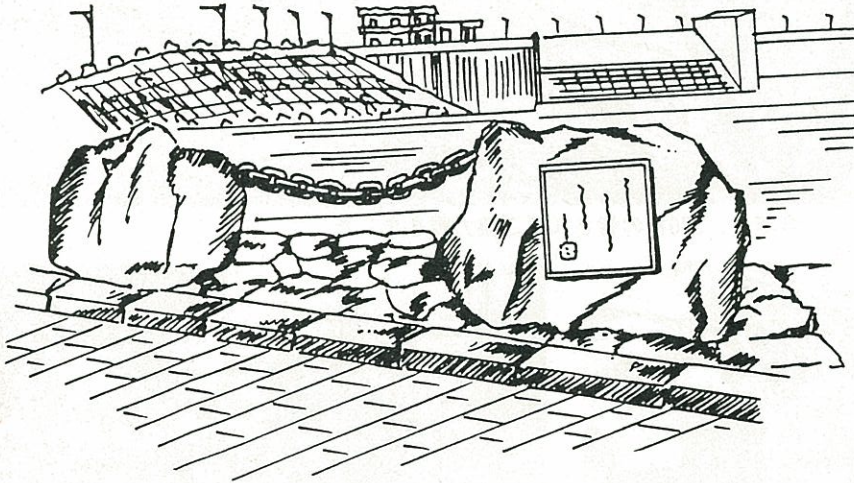
### 建立事業スタート」

下松市の米泉湖（末武川ダム）は、自然石と土を積み上げた全国的にも珍しいロックフィルダムです。周囲は公園として整備され、新たな観光名所として多くの人々に親しまれています。このロックフィルダムの堰堤にある自然石に、あなたの俳句を貴重な文化の足跡として残すものです。

米泉湖は自然石を積み上げたロックフィルダムですので、その自然石の特性を生かし、ダム堰堤周辺を中心に、多くの文学碑を作製し大自然の中で、文学に親しんでもらおう、そして米泉湖へ多くの人に訪れてもらおうと米泉湖文学碑プロムナード建立事業がスタートいたしました。「米泉湖の堰堤の自然石にあなたの俳句を句碑として刻んでみませんか？」という事で今年三十石を目標に五月十五日から六月十五日まで公募した所六十二名の方から応募がありました。そしてうれしい事にこの企画の主旨に賛同いただいた大島町出身の作詞家星野哲郎さんから自筆で北島三郎さんが歌う「山」の歌詞を寄せていた

だき、さっそくこれを歌碑にし、魅力ある文学碑プロムナードにして行くつもりです。尚この除幕式は九月二十三日米泉湖音楽フェスティバルの当日挙行する予定です。

◆お問い合わせ先  
下松市役所内下松市観光協会  
電話 〇八三三二四一一  
一八〇〇番 「米泉湖文学碑プロムナードの係」  
主 催 下松市観光協会  
主 幹 米泉湖文学碑プロムナード実行委員会



昨年十月十五日、本会会員の三井寛静先生から貴重なご提言を頂きました。  
御提言は左記の文面です。

#### 下松市内観光地に 俳句箱を設置の件

提言者 三井寛静

#### 要 項

「県内萩市等にはすでに設置された所があります」  
市内二・三ヶ所、例えば国民宿舎大城、笠戸島ハイッ、米泉湖等に、常設の投句箱を設置し、シーズンの季節末に開函、下松俳句協会会員にて選句し、観光誌その他にて入選句の発表、又簡単な賞を出す等して、観光開発に寄与協力することを目的とする。

市及び観光協会のご支援で協力をお願いします。  
平成四年十月十五日

下松俳句協会会長

山本久雄

三井寛静

下松市観光協会殿

## 第7回レトロバザールについて ご案内

日 時 平成5年10月23日(土) 13時～17時  
10月24日(日) 9時～16時

場 所 下松市役所前グリーンプラザ

出店者募集 未定(8月頃 先着50ブロック)

出 店 料 1ブロック(テント半分3.6m×2.7m)  
3,000円で両日有効  
電力使用は別途料金あり

そ の 他 ステージアトラクションを予定



♪ 歌おう 緑の中で Happyソング♪

### 米泉湖音楽フェスティバル

### 只今、奮闘努力準備中!!

今年も地域おこし、街おこしの夢をたくして九月二十三日(秋分の日)米泉湖音楽フェスティバル'93は第三回目を迎える事になりました。昨年に続き市内の中学校、高校の吹奏楽部の他に、今年は陸上自衛隊山口駐屯地音楽隊や、(株)東ソーのニューサンウズなど大変多くの演奏者を予定しています。又昨年大変好評をい

ただいたフラメンコに変わりました。今年はブレックダンスを中心にしたダンシングチームの出演、そして何よりも昨年大変盛り上り会場全員で大合唱をした成功を受け、今年はロイヤルウエディングの記念すべき年ですから音楽結婚式を挙行する事に決定しました。すでにそのためのカップルは三泊四日の新婚旅行他豪華プレ

ゼント付きで公募をして、素晴らしい一組を選考しております。その他にも大変盛り沢山の企画を現在検討中です。どうか御期待の上、九月二十三日米泉湖へお集まり下さい。

## 残暑お見舞申し上げます

### 観光協会 = 協賛広告 =

順 不 同

ホテル 幾久屋 ☎ 41-1115	笠戸島郵便局 ☎ 52-0001	(株) 西 友 ☎ 41-5222
大城リゾート ☎ 52-0138	駒 屋 ☎ 41-0095	ビジネスホテルくだまつ ☎ 41-0357
NTT下松支店 ☎ 43-9741	愛隣幼児学園 ☎ 41-0735	笠戸ひらめを広める会 ☎ 41-1115
やない菓子舗 ☎ 41-0284	笠戸島ハイツ ☎ 52-0150	陸美マイクロ株式会社 ☎ 41-0305

KRYアナ  
江口雄司の  
**おびさまさま**  
Vol.3

本格的な夏も間近、ますます生ビールがウマイ季節になって参りました。最近ではジョッキ片手にJリーグ、プロ野球のテレビ観戦と忙しい御仁も多く、当然僕もそうできて、水曜と土曜の夜は外出しないと決めております。(ただし、強引な誘惑がない限りではあります。)

さて、「江口雄司のおじゃましまし」三回目の今日ご紹介する下松市観光協会会員のお店は、人も羨むおしどり夫婦の「コンテッサ」と、「いろいろ一升びん」です。

「あのー失礼ですが、テレビに出ているお坊さんでしょう」おそるおそる声をかけられる「いや、やつぱりそうや、何時も見てますよ」

内心俺も段々と有名になっただと喜んでると、「蝶さんお元気にしてられますか」と尋ねられて、「あ、この人、よみうりテレビに出演の京都の和尚さんと間違っているな」と思っ

たとたん、淋しくなる。有名人には、中味がある。例えば、巨人の松井選手のように入団前からスター並だ。

**三池孝尚のテレビあれこれ**

**あ、有名名人？**

**三池孝尚**

「蝶さんお元気にしてられますか」と尋ねられて、「あ、この人、よみうりテレビに出演の京都の和尚さんと間違っているな」と思っ

下松駅南口から下松スポーツセンターの方向に短めの足でゆっくり歩いて5分、「コンテッサ」のネオンに吸い込まれ店内に入ると、にこやかに童顔のマスターと超美人の奈津恵ちゃんがお出迎え。店内は二十人ほどがゆつたりと座れ、カラオケ用にステージも整っており、雰囲気も落ち着いてゴージャスな感じ。早速グラスを傾けながら取材の開始。マスターがこのお店を始めたのが、今から十二年前。開店してまもなく、このお店に遊びに来た奈津恵ちゃんにマスターがぞつこん惚れ孕年結婚、以来おしどりコンビ(巷には漫才コンビとの噂もあり)で、誰でも気軽に楽し



しく飲み、しかも安いお店と定着。話術の巧みさ、礼儀正しさ、べっぴんママのいわば三種の神器で、ますます好調の波に乗る「コンテッサ」です。

ところで、マスターの趣味は磯もぐり。「仕事を終え、きれいな笠戸島の海にもぐる」と仕事の疲れも吹っ飛びますよ」とのこと。一方、和服も

視覚にうったえる直感の世界、パツと写った感情の世界が、全てを決定する世界である。タレントは、特色のある動き、言葉、スタイルが必要条件になり、有名名人として実力を備えてテレビ界に残って行く

く人は少ない。ドタバタのアクションでは、本場のスターには成れない世界である。

今度のはガラッとムードが変わって、山陽本線踏切そばの相生町にあるろばた焼「いろいろ一升びん」を訪れました。店内に入ると無数の赤ちようちん、木の香ただようござつぱりとしたテーブル、天井には漁網といかにも吟味された海の幸、山の幸を肴にのいし

似合うママは、実にコリ性でゴルフはHD20、ポウリングもほとんどがストライクと勝負強さはつとに有名。この相性一受賞のなかよし夫婦の「コンテッサ」が、この秋には楽しいコンペを企画中とのこと、あなたも一緒に仲間に入りませんか？

今度のはガラッとムードが変わって、山陽本線踏切そばの相生町にあるろばた焼「いろいろ一升びん」を訪れました。店内に入ると無数の赤ちようちん、木の香ただようござつぱりとしたテーブル、天井には漁網といかにも吟味された海の幸、山の幸を肴にのいし

いとお酒を気持ちよく飲んでらおうという大将の心配りです。いっばい。その大将、徳山の友人を頼って十年前に大阪での国家公務員の仕事を捨て、京都美人の奥さんとともに下松に来て始めたのがこのお店。

「いらっしやい！」「おおきに！」店内三十六席と宴会場のすみからすみまで聞こえる声の実にさわやかだ。

二十歳の娘さんは県内企業に就職し、息子さんも高校二年生。新居も昨年久保団地の東陽に構え、「もう下松が第二の故郷ですよ」と大将。

伊藤会長よりバトンタッチを受けた初任事が、星のゆめ第3号の発行でした。何もわからないままに、近間会長、小西、石川副会長そして会報委員会のメンバーに助けを求めながらようやく第3号の発行にこぎつける事ができました。しかも一部カラー化が実現できた事に新米委員長として一息ついてるところです。会員間の唯一の交流機関である広報紙の尚一層の充実のため、皆様のご意見を待っています。



**編集後記**

伊藤会長よりバトンタッチを受けた初任事が、星のゆめ第3号の発行でした。何もわからないままに、近間会長、小西、石川副会長そして会報委員会のメンバーに助けを求めながらようやく第3号の発行にこぎつける事ができました。しかも一部カラー化が実現できた事に新米委員長として一息ついてるところです。会員間の唯一の交流機関である広報紙の尚一層の充実のため、皆様のご意見を待っています。

「お客様との出会いと、心の通い合う長いおつきあいを大切に」という大西夫婦。今夜は取材で酔えなかったのがやや残念、しかし、今度はトントン飲みますよ。みなさんも「一升びん」をよろしくね。営業時間 午後5時〜10時 定休日 月曜日